

まちの魅力を100年先の子どもたちへ…



▲冊子編集に携わった、名古屋市立大学 佐野直子先生と研究室の皆さん、かわら美術館職員、市役所職員

聞き書き2016×タカハマ!まるごと宝箱「たかはまかわら」

“撮っておき” の たかはま

【第56回】

「ひと」「もの」「文化」などなど、
有形・無形を問わず、
高浜市の日常の暮らしの中にある
撮っておきの「お宝」を紹介します。



形ある物とは違い、人々の中にある記憶や想いは、文字にのこしたり、語り継いでいかなければ消えてしまう。それらを未来へ伝えていくのは、今を生きる私たちの役目—そんな想いから、市民の皆さんとの語り合いをとおして、市の歴史や文化を記録する活動「タカハマ!まるごと宝箱」は始まった。昨年6月からは、名古屋市立大学とかわら美術館との連携による「聞き書き『かわら』プロジェクト」もスタート。

そしてこのほど「かわら」づくりに携わってきた方、「かわら」のまちの移り変わりを見つめ続けてきた方から、学生たちが聞きとったことを60ページに凝縮して書きおこした冊子「たかはまかわら」が完成した。方言を交えたやわらかな語り口は、そのひとの生きざまをも示しているようであり、かわらに対する情熱、まちやかわらがたどってきた歩みがいきいきと伝わってくる。

語り手の皆さんからは「自分でも気づいていなかったかわらの素晴らしさを、学生さんたちがあぶりだしてくれました。このまちを未来へつなげていく責任の重みを、改めて感じています。」との言葉が聞かれた。また、学生からは「本当はもっともっと伝えたい、知ってほしいことがたくさんあるんです!でも、すべては載せきれなくて…。」「これまで何気なく見ていたかわらでしたが、外へ出ると上を向いて歩くようになりました。」など、すっかり高浜市とかわらに魅了されたようす。

語り手から聞き手へと伝えられた、このまちの魅力。次は冊子を読んだあなたが語り手となり、未来へ向かってつながりの輪を広げてほしい。

※冊子は図書館で貸出し中。希望者には市役所で販売(1冊500円)
問合せ先 圃文化スポーツグループ ☎52-1111 (内線300)

LEIA A PÁGINA EM PORTUGUÊS!

ポルトガル語のページを読んでください!(P.15)

広報たかはま
編集・発行／高浜市役所総合政策グループ

〒444-1398 愛知県高浜市青木町四丁目1番地2
TEL (0566) 52-1111 FAX (0566) 52-1110
<http://www.city.takahama.lg.jp/>
電子メール info@city.takahama.lg.jp

早期配布にご協力ください。



VEGETABLE OIL INK 広報たかはまは植物油インキを使用しています。